

2005 年度

「行政書士のための特設講座」講義概要

科目名	家事事件手続法実務研究	講義 2 単位	氏名	梶 村 太 市
講義回	日 付	講 義 概 要		
第 1 回	5 月 7 日 (土)	【授業内容】		
第 2 回	5 月 13 日 (金)	○家事事件手続法概説 (講義形式)		
第 3 回	5 月 20 日 (金)	○家事事件手続法概説 (講義形式, 次回以降のゼミ形式の方法の説明)		
第 4 回	5 月 27 日 (金)	○相続法と遺言法との関係 (以下, ゼミ方式) 法定相続と遺言との関係		
第 5 回	5 月 28 日 (土)	○相続人と相続分 相続人の範囲、代襲相続、相続欠格、推定相続人の廃除、法定相続分、		
第 6 回	6 月 4 日 (土)	○指定相続分、特別受益者の相続分、寄与分、相続分の取戻し、同時死亡の推定		
第 7 回	6 月 10 日 (金)	○祭祀継承 相続との関係、誰がどのような手続で承継者に指定されるか		
第 8 回	6 月 17 日 (金)	○共同相続を巡る諸問題 相続財産の範囲、遺産分割対象財産の範囲、相続と登記、遺産共有と物権法上の共有、相続債務の承継		
第 9 回	6 月 18 日 (土)	○遺産分割を巡る諸問題 協議分割・調停分割・審判分割・遺言分割 相続人や遺産の範囲に争いがある場合の各手続		
第 10 階	6 月 25 日 (土)	○相続の放棄・承認 承認・放棄の期間、3 か月の期間の進行開始時、単純承認の要件・効果、 限定承認の手続と効果、相続の放棄の手続と効果		
第 11 回	7 月 1 日 (金)	○相続人の不存在と特別縁故者への分与 相続財産管理人の選任、相続財産管理人の諸類型、特別縁故者への分与		
第 12 回	7 月 9 日 (土)	○遺言の方法 自筆証書遺言・公正証書遺言・秘密証書遺言等、遺言書の検認		
第 13 回	7 月 16 日 (土)	○相続させる遺言と遺贈・死因贈与 相続させる遺言、包括遺贈と特定遺贈、遺言の効力、死因贈与の効用		
第 14 回	7 月 23 日 (土)	○遺言の執行 遺言執行の要否、遺言執行者の選任、執行者の職務権限、相続人の権限との関係		
第 15 回	7 月 30 日 (土)	○遺留分を巡る諸問題 遺留分と相続分・自由分との関係、遺留分侵害額の算定、受遺者等の価額弁償権、 遺留分減殺請求権の消滅時効、遺留分の事前放棄 ○事務委任契約。任意後見契約・遺言・死後委任契約の 4 点セット 成年後見制度の意義、法定後見と任意後見、死後委任契約の効		

		力 ○相続・遺産分割・遺言と扶養 【履修上の注意】 第 3 回以降は毎回 1 週間前に予習問題を出すので必ず予習しておくこと 【教科書】 梶村太市・徳田和幸編著「家事事件手続法」(2005 年 3 月刊行 有斐閣 伊藤昌司「相続法」(有斐閣) 【参考書】 なし(必要なものはコピーして配布する) 【成績評価】 試験の結果とゼミにおける発言等を総合評価する 【その他】 本講座は理論的にも高度なものを目指し、実務的にも有用なもの としたいので、 受講生は教科書 2 冊は必ず読了しておくこと
--	--	--

--	--	--

--	--	--